

富津市経営改革プラン実行計画 進捗状況一覧【令和2年3月末】

項目	担当課等	実施内容		H27	H28	H29	H30	R1	累計 (千円)	実施結果
----	------	------	--	-----	-----	-----	-----	----	------------	------

1 歳入に関する事項

(1) 税負担の公平性の確保

1	① 新規滞納者の防止対策	税務課	<ul style="list-style-type: none"> ・期限内納付の周知徹底 ・滞納処分に関する周知 ・滞納処分の早期着手 	計画	—————→						<ul style="list-style-type: none"> ・納期一覧表の全戸配布 ・納付書送付封筒へ納期を記載 ・今月の納期のお知らせ (広報・安全安心メール) ・広報による滞納処分実績周知 ・現年度分滞納者への催告書の発送 ・口座振替キャンペーン(平成28年度より毎年度) ・クレジットカード納付開始(R1年度～) 																				
				目標額	—	—	—	—	—	—																					
				実績額	—	—	—	—	—	—																					
2	② 滞納額の縮減対策	税務課	<ul style="list-style-type: none"> ・差押財産の公売強化 ・納付指導の徹底 	計画	—————→						<p style="text-align: center;">差押件数 換価金額(うち公売実施落札額)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">H27</td> <td style="width: 10%;">346件</td> <td style="width: 10%;">39,141千円</td> <td style="width: 10%;">(1,558千円)</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>456件</td> <td>61,070千円</td> <td>(3,464千円)</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>536件</td> <td>54,891千円</td> <td>(9,471千円)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>650件</td> <td>53,828千円</td> <td>(4,214千円)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>703件</td> <td>59,498千円</td> <td>(6,430千円)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・滞納繰越分滞納者への催告書の発送 	H27	346件	39,141千円	(1,558千円)	H28	456件	61,070千円	(3,464千円)	H29	536件	54,891千円	(9,471千円)	H30	650件	53,828千円	(4,214千円)	R1	703件	59,498千円	(6,430千円)
				H27	346件	39,141千円	(1,558千円)																								
				H28	456件	61,070千円	(3,464千円)																								
H29	536件	54,891千円	(9,471千円)																												
H30	650件	53,828千円	(4,214千円)																												
R1	703件	59,498千円	(6,430千円)																												
目標額	144,209	66,797	63,350	59,079	56,339	389,774																									
実績額	34,628	83,429	87,299	94,826	103,850	404,032																									
3	③ 都市計画税	都市政策課 税務課	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画事業等の見直し 	計画	—————→						<p>現状ある都市計画施設の維持管理を理由に都市計画税を課税することは、住民の理解が得られないものとする。</p> <p>今後、都市計画税の課税に向けては、現在策定中の総合計画の中で新たな事業を見出していかほか、都市計画施設の維持更新費用の見込みと、その財源確保の見直しを見極めていきたいと考えている。</p>																				
				目標額	—	—	—	—	—	—																					
				実績額	—	—	—	—	—	—																					

(2) ふるさとふつつ応援寄附

4	① ふるさとふつつ応援寄附	企画課	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税制度の積極的な活用推進 ・寄附傾向の徹底した分析による有効なPR・リピーター獲得の強化 	計画	—————→						<p>平成28年9月から返礼品開発体制等を強化するため、返礼品発注管理等業務委託を開始したこと、返礼品協賛事業者数及び返礼品数の増加が図れた。また、寄附を受け付けるポータルサイト数を増やすとともに、寄附傾向の分析、イベントへの参加等による効果的なPR施策を講じることができた。他にも、返礼品協賛事業者と定期的に会議を開催し、意見交換等を行うことで情報共有を図るなど、協賛事業者、行政及び委託事業者が一体となり寄附促進に取り組んだ結果、目標額を大きく上回る成果を挙げることができた。</p>
				目標額	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	100,000	
				実績額	27,608	264,711	353,667	365,594	472,161	1,483,741	

項目	担当課等	実施内容		H27	H28	H29	H30	R1	累計 (千円)	実施結果
----	------	------	--	-----	-----	-----	-----	----	------------	------

(3) 財産収入の確保

5	① 未利用財産の処分・有効活用	資産経営課	すでに行政目的を終えた財産や、現時点で行政目的としての活用が見込めない土地について、積極的な処分を進める。売却が困難な未利用財産は、有償貸付などにより有効活用を図る。	計画	→						すでに行政目的を終えた財産等について、積極的な処分を行い、計画期間中に目標額以上の歳入を確保することができた。
				目標額	16,320	19,014				35,334	
				実績額	2,017	43,299	5,093	12,002	825	63,236	
6	② 公共財産の有効的な活用	資産経営課	庁舎の空きスペースの有効活用を検討し、自主財源の確保を図る。	計画	→						庁舎の空きスペースを有効活用（広告付案内板及び自動販売機の設置）することにより、計画期間中に目標額以上の歳入を確保することができた。
				目標額	0	720	1,486	1,640	1,640	5,486	
				実績額	0	720	6,233	6,579	6,579	20,111	

(4) 行政サービス対価の見直し

7	① 使用料・手数料の見直し	財政課各部局	事業コストを踏まえた適正な水準を維持するため、「使用料・手数料見直し基本方針」に基づき見直しを実施する。	計画	→			→			平成28年に減免の実態調査及び公共施設の市外者利用状況調査を実施したところ、市外者利用状況については、体育施設が市外利用者の割合が高い状況であり、一部、市外・市内料金が同一の施設も存在したため、税負担の公平性の見地から、市外者利用料金について見直し、平成30年度から市外料金を導入した。 また、平成30年度に「使用料・手数料の見直し基本方針」を一部修正した。 今後も定期的に全庁的な調査を実施していく。
				目標額	—	—	—	—	—	—	
				実績額	0	0	0	0	0	0	
8	② 減免規定の検証	財政課各部局	本来、例外的かつ必要最小限に留めるべき減免規定の範囲が肥大化していないかなど、全ての使用料・手数料について検証を行う。	計画	→						平成28年に減免の実態調査及び公共施設の市外者利用状況調査を実施したところ、減免規定範囲の肥大化などや施設によって大きく異なるなどの状況は見受けられなかった。 今後も定期的に実態調査を実施していく。
				目標額	—	—	—	—	—	—	
				実績額	0	0	0	0	0	0	
			計画	→							
			目標額	—	—	—	—	—	—		
			実績額	—	—	—	—	—	—		
			利用対象者や施設によって大きく異なることなく可能な限り基準の統一を図る。	計画	→						
				目標額	—	—	—	—	—	—	
				実績額	—	—	—	—	—	—	

2 歳出に関する事項

(1) 報酬等の見直し

9	① 常勤特別職給与引き下げ	総務課	条例に規定されている給料月額から30%削減	計画	→						常勤特別職の給料を引き下げることにより、特別職が率先して経営改革の姿勢を示すとともに、歳出の削減が図れた。
				目標額	△ 7,662	△ 7,327	△ 7,327	△ 7,327	△ 7,327	△ 36,970	
				実績額	△ 7,450	△ 20,127	△ 12,282	△ 6,784	△ 5,116	△ 51,759	
10	② 非常勤特別職報酬等見直し	担当部局	代表監査委員報酬、区長報酬の見直し	計画	→						代表監査委員報酬、区長報酬は平成27年度当初に見直しを行い、歳出削減を図った。
				目標額	△ 9,278	△ 9,278	△ 9,278	△ 9,278	△ 9,278	△ 46,390	
				実績額	△ 13,658	△ 13,935	△ 13,911	△ 13,955	△ 13,982	△ 69,441	

項目	担当課等	実施内容		H27	H28	H29	H30	R1	累計 (千円)	実施結果
				計画	目標額	実績額	目標額	実績額		
11 ③ 職員地域手当の削減	総務課 財政課	財政状況を勘案し見直す。	計画	→	→	→	→	→		財政状況を勘案して適宜見直すことにより、歳出の削減とともに、人材の確保、職員のモチベーションの向上等が図った。
			目標額	△ 61,721	△ 59,496	△ 57,436	△ 55,573	△ 53,472	△ 287,698	
			実績額	△ 61,721	△ 29,600	6,287	20,820	23,160	△ 41,054	

(2) 職員数の見直し

12 ① 定員適正化計画の推進	総務課	定員適正化計画に基づき、職員数の削減を実行する。 【職員数は年度当初(予定)人数】	計画	468名	459名	442名	432名	420名		職員数の削減と行政需要とのアンバランスが生じたことから、平成30年度から令和4年度までの5か年を計画期間とした新たな定員適正化計画を平成29年8月に作成し推進している。
			目標額	△ 179,802	△ 270,980	△ 382,838	△ 473,299	△ 575,898	△ 1,882,817	
			実績額	△ 193,206	△ 209,020	△ 203,635	△ 192,418	△ 126,345	△ 924,624	
13 ② 組織・機構の見直し	総務課	今後の職員削減を見据え、多様化する市民ニーズに対応できる機能的な組織体制を構築するため、毎年度見直しを実施するとともに、限られた人員を効果的に活用できる配置を行う。	計画	→	→	→	→	→		組織機構のコンパクト化を進めつつも、多様化する市民ニーズや市の抱える行政課題に対応できる機能的な組織体制を目指し、毎年度、行政組織の見直しを行うことにより、効果的な組織体制が構築できた。
			目標額	—	—	—	—	—	—	
			実績額	—	—	—	—	—	—	

(3) 公共投資の重点化

14 ① 公共施設白書の作成	資産経営課	公共施設白書の作成・更新	計画	作成	更新	→	→	→		市が保有する公共施設等の施設概要・コスト・利用実績等を記載した『富津市公共施設白書』を平成27年度に作成し、以後、毎年度更新を行っている。
			目標額	—	—	—	—	—	—	
			実績額	—	—	—	—	—	—	

項目		担当課等	実施内容		H27	H28	H29	H30	R1	累計 (千円)	実施結果
15	② 公共施設等総合管理計画の策定・実行	資産経営課 プロジェクト チーム 各部局	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設等総合管理計画策定 各個別計画策定 市民意見交換会実施 個別計画に従った再配置の実行 	計画							<ul style="list-style-type: none"> 平成28年3月に「公共施設等総合管理計画」策定。 閉校となった施設について、住民の意見を伺うためのワークショップを8月に実施。 令和2年9月に全庁横断的な視点で再配置の方針についてまとめた「公共施設再配置推進計画」を策定。 令和2年度中の個別施設計画策定を予定。
				目標額	—	—	—	—	—	—	
				実績額	—	—	—	—	—	—	
16	③ 公共施設維持管理基金の創設	資産経営課	公共施設の改築・改修その他整備に要する経費の財源に充てるための基金を創設する。	計画							平成28年3月に関連条例を制定し、その後、中期財政計画に基づき、計画的な積み立て、基金の目的に沿った公共施設の改修や修繕への活用を行っている。
				目標額	150,000	10,000	10,000	10,000	10,000	190,000	
				実績額	150,000	50,014	99,918	41,328	40,731	381,991	
17	④ 普通建設事業の見直し	財政課 各部局	事業の選択と集中により普通建設事業費の圧縮・既存事業の見直し、再編によるコスト削減を行う。また、公共施設の再編や長寿命化等の推進に必要な経費を計画的に盛り込む。	計画							財源確保の見通しや優先順位等を考慮し作成している中期財政計画に計上した事業を基本として次年度の予算化を行うことにより、計画的な事業の推進と歳出額の抑制に繋がっている。
				目標額	△ 49,473	△ 57,219	△ 68,141	75,362	△ 6,585	△ 106,056	
				実績額	△ 20,549	△ 12,575	△ 66,501	△ 77,851	208,116	30,640	

項目	担当課等	実施内容		H27	H28	H29	H30	R1	累計 (千円)	実施結果	
(4) 事務事業の再編											
18 ① 事務事業の見直し	財政課 各部局	実施背景や目的、成果などを一目で把握できる事業シートの作成を契機として、担当者自らが事務事業を見直し、改善に取り組む。	計画							毎年度の事業シート作成通し、コストや成果などを検証し、より効果的・効率的に目的を達成する手段を考えるPDCAサイクルが定着してきているものとする。 また、平成27・28年度に開催した事業仕分けの実施結果等を踏まえ、事務事業の再点検を行った結果、目標額以上の歳出の縮減を図ることができた。	
			目標額	—	—	—	—	—	—		
			実績額	—	—	—	—	—	—		
		市民参加型の事業仕分け等の実施結果を踏まえ、事務事業の内容を精査し、有益で効率的なものとなるよう見直しを行う。	計画								
			目標額	△ 56,726	△ 63,252	△ 69,133	△ 68,864	△ 70,588	△ 328,563		
			実績額	△ 90,011	△ 138,101	△ 173,778	△ 180,281	△ 184,784	△ 766,955		
19 ② 業務委託の見直し	財政課 各部局	時代の経過により不必要と思われる経費などがないか、改めて見直しする。また、職員自身でできるものは、できるだけ実施していく体制を検討する。	計画							業務委託の仕様の工夫、単価設定等を見直しを実施し、歳出額の縮減を図ることができた。	
			目標額	—	—	—	—	—	—		
			実績額	△ 7,443	△ 5,000	△ 3,884	△ 4,475	13,290	△ 7,512		
20 ③ 土地開発公社・施設利用振興公社の在り方の検討	財政課 都市政策課	年数を経て設立目的を果たし終えたものではないか、また、設立目的や業務内容が民間企業と競合しているものではないかといった観点から各団体の内容を精査し、在り方を検討する。	計画							土地開発公社による土地の取得は、一般会計の債務負担を伴うことから実施しないこととし、償還が終了する令和3年度以降に解散する方針とした。 また、令和元年度から都市公園・市立公園の指定管理について公募による選定を行い、施設利用振興公社と民間事業者が共同で指定管理者となった。民間事業者の有するノウハウの活用により施設利用者の増加が図られている。	
			目標額	—	—	—	—	—	—		
			実績額	—	—	—	—	—	—		

項目	担当課等	実施内容		H27	H28	H29	H30	R1	累計 (千円)	実施結果
----	------	------	--	-----	-----	-----	-----	----	------------	------

(5) 補助金等の見直し

21	① 補助金等の見直し	財政課 各部署	補助事業の効果・成果等を精査したうえで、役割を終えた補助金については廃止し、新たな行政課題に合った補助制度への柔軟な対応を行う。	計画	→	→	→	→	→	事業シートを通して目的・効果の検証を行い、不適切な補助金の条件付継続・休止・段階的廃止・廃止又は減額等といった抜本的な見直しを行ったことで、公平性の確保や役割分担の明確化を図ることができた。	
				目標額	△ 29,561	△ 19,132	△ 19,132	△ 19,132	△ 19,132		△ 106,089
				実績額	△ 30,208	△ 25,657	△ 32,260	△ 23,300	△ 19,464		△ 130,889

(6) 繰出金等の精査

22	① 繰出金等の精査	担当部署	特別会計や公営企業等の経営改善、収入の適正化等への取り組みの状況を踏まえ、適正な額を繰出金として措置する。	計画	→	→	→	→	→	事業シートを通して、毎年度、各担当課で検証・見直しを実施し、歳出の削減を図ることができた。	
				目標額	△ 132,491	△ 42,491	△ 42,491	△ 42,491	△ 42,491		△ 302,455
				実績額	△ 146,215	△ 154,624	△ 140,948	△ 179,973	△ 261,778		△ 883,538

3 業務改革の徹底

(1) 行政課題解決に向けた目標管理指向型の組織の形成

23	① 経営方針・部課経営方針の策定・公表	秘書広報課 各部署	経営の目標・方針を定め、責任を負うべきトップマネジメント（市長）と責任ある立場の管理職である部局長が、政策協議を経て各部署が果たすべき使命を明らかにし、年度ごとの対応方針を定める。 また、部局長の権限のもとに、「仕事に対する基本姿勢」と「取り組む重点課題」を職員一人ひとりに対し明らかにするための仕組みを構築する。	計画						市政運営の基本的な考え方や主要な施策を示した施政方針から、各部署・課が取り組むべき重点課題と仕事に対する基本姿勢を明確にした重点取組事項を定め、これを基に部・課の組織目標及び職員個人の業務目標を設定する仕組みを構築した。	
				目標額	—	—	—	—	—		—
				実績額	—	—	—	—	—		—
24	② 目標管理制度の導入	総務課 秘書広報課	職員が経営の目標を明確に意識し、主体的な職務を遂行することを目指すため、現在、構築を進めている人事評価制度に盛り込む。	計画					→	自己の業務目標を設定するにあたっての基礎となる組織目標を設定する仕組みを構築した。 また、人事評価に業績評価として目標管理シートを導入し、継続的に実施することにより、主体的な職務の遂行、職員の資質向上、業務の改善等を図ることができた。	
				目標額	—	—	—	—	—		—
				実績額	—	—	—	—	—		—
25	③ 人事評価結果の活用	総務課	評価結果は、異動、配置換その他の人事管理並びに人材育成及び能力開発に積極的に活用し、組織全体の活性化を図る。	計画	試行	実施			→	平成28年度から人事評価制度を本格実施し、期首、期中、期末と3回の面談を行い、業績評価（目標管理）と能力評価を行った。 これまで実施してきた中で、制度の点検と見直しを適宜行ってきたことで、制度の浸透及び精度の向上が図られたものと考えことから、引き続き、人事管理や人材育成、能力開発に積極的に活用していく。	
				目標額	—	—	—	—	—		—
				実績額	—	—	—	—	—		—

項目	担当課等	実施内容		H27	H28	H29	H30	R1	累計 (千円)	実施結果
----	------	------	--	-----	-----	-----	-----	----	------------	------

(2) 柔軟な組織運営体制の構築

26	① 人事異動の弾力化	総務課	職員協力、臨時的併任など、繁忙期を考慮した短期的かつ機動的な人員確保が行えるよう調整を図る。	計画						相互応援体制の積極的な活用や臨時職員等の登録制度により短期的な人員の確保を図ることで、柔軟な組織運営体制を構築することができた。
				目標額	—	—	—	—	—	
				実績額	—	—	—	—	—	

(3) 業務改善の徹底

27	① 内部業務の見直し	財政課 プロジェクト チーム 各部局	職員の負担軽減や事務の効率化を図るため、これまでの慣例に捉われることのない改善策を検討し、実行する。	計画	検討	実行				プロジェクトチームからの業務改善提案としての検討報告書を基に、44件の改善項目を各担当において検討した結果、人事異動の流動化や電算・システムの見直しなどの実行した項目が28件、市民サービスに与える影響を踏まえ現状のままとした項目が11件、引き続き調査・検討を必要とする項目が5件であった。 これらにより、職員の負担軽減と事務の効率化に一定の成果があったものと考えられる。
				目標額	—	—	—	—	—	
				実績額	—	—	—	—	—	
28	② 業務改善意識の活性化	財政課	アイデアを出すだけになりがちな職員提案制度に加え、自分の仕事を自分で改善し、現実に改善が確保された業務改善活動を報償する仕組みを構築する。	計画	見直し	実施				これまで対象としていた提案のほか、改善効果のあった実績等についても表彰や褒賞の対象とすることで、職員の業務改善に対する意欲の向上につながっているものと考えられるが、提案件数が少ない状況から、全庁的に定着しきれていないことが伺える。
				目標額	—	—	—	—	—	
				実績額	—	—	—	—	—	

4 財政規律の厳格化

29	① (仮称) 財政運営基本条例の制定	財政課	財政運営の基本的事項を定め、計画的な財政運営の仕組みを構築し、将来世代に過度な負担を残すことのない安定した財政運営を確保し、市民の福祉の向上に寄与する。	計画	検討	施行				平成29年9月に「富津市健全な財政運営に関する条例」を制定し、市の財政運営に関する基本理念及び基本となる事項を定め、また、本条例により毎年度策定している「中期財政計画」を財政運営や予算編成の目標・指針として計画的な財政運営に取り組んでいる。
				目標額	—	—	—	—	—	
				実績額	—	—	—	—	—	

◎ 収支改善策による改善額

(単位:千円)

収支改善策項目			H27	H28	H29	H30	R1	合計
歳入	(1) 税負担の公平性の確保	目標額	144,209	66,797	63,350	59,079	56,339	389,774
		実績額	34,628	83,429	87,299	94,826	103,850	404,032
	(2) ふるさとふつつ応援寄附	目標額	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	100,000
		実績額	27,608	264,711	353,667	365,594	472,161	1,483,741
	(3) 財産収入の確保	目標額	16,320	19,734	1,486	1,640	1,640	40,820
		実績額	2,017	44,019	11,326	18,581	7,404	83,347
	(4) 行政サービス対価の見直し	目標額	-	-	-	-	-	-
		実績額	0	0	0	0	0	0
	小計	目標額	180,529	106,531	84,836	80,719	77,979	530,594
		実績額	64,253	392,159	452,292	479,001	583,415	1,971,120
歳出	(1) 報酬等の見直し	目標額	△ 78,661	△ 76,101	△ 74,041	△ 72,178	△ 70,077	△ 371,058
		実績額	△ 82,829	△ 63,662	△ 19,906	81	4,062	△ 162,254
	(2) 職員数の見直し	目標額	△ 179,802	△ 270,980	△ 382,838	△ 473,299	△ 575,898	△ 1,882,817
		実績額	△ 193,206	△ 209,020	△ 203,635	△ 192,418	△ 126,345	△ 924,624
	(3) 公共投資の重点化	目標額	△ 49,473	△ 57,219	△ 68,141	75,362	△ 6,585	△ 106,056
		実績額	△ 20,549	△ 12,575	△ 66,501	△ 77,851	208,116	30,640
	(4) 事務事業の再編	目標額	△ 56,726	△ 63,252	△ 69,133	△ 68,864	△ 70,588	△ 328,563
		実績額	△ 97,454	△ 143,101	△ 177,662	△ 184,756	△ 171,494	△ 774,467
	(5) 補助金等の見直し	目標額	△ 29,561	△ 19,132	△ 19,132	△ 19,132	△ 19,132	△ 106,089
		実績額	△ 30,208	△ 25,657	△ 32,260	△ 23,300	△ 19,464	△ 130,889
	(6) 繰出金等の精査	目標額	△ 132,491	△ 42,491	△ 42,491	△ 42,491	△ 42,491	△ 302,455
		実績額	△ 146,215	△ 154,624	△ 140,948	△ 179,973	△ 261,778	△ 883,538
	小計	目標額	△ 526,714	△ 529,175	△ 655,776	△ 600,602	△ 784,771	△ 3,097,038
		実績額	△ 570,461	△ 608,639	△ 640,912	△ 658,217	△ 366,903	△ 2,845,132
改善額	目標額	707,243	635,706	740,612	681,321	862,750	3,627,632	
	実績額	634,714	1,000,798	1,093,204	1,137,218	950,318	4,816,252	